

岡 真理 さん 講演会

パレスチナ 人権の臨界から 世界が照射されるとき



昨年末から今年初めにかけての大規模なイスラエル軍のパレスチナ・ガザへの侵攻。停戦から半年以上経ったいまでも封鎖状態が続くガザ。検問所も閉ざされ、人々はガザにとじこめられたままだという。いったいこの不条理な事態はなにゆえもたらされているか。たび重なる「和平交渉」の破綻。はたして真の解決はあるのか。そして私たちはパレスチナからなにを学ぶべきか。思想問題としてパレスチナ問題を問うてきた岡真理さんに語っていただきます。

プロフィール

岡 真理 (おか まり) さん

1960年東京生まれ

現代アラブ文学研究者。京都大学大学院人間・環境学研究科教授。東京外国語大学でアラビア語を学ぶ。在学時代に、パレスチナ人作家ガッサン・カナファニーの小説を読み、パレスチナ問題、アラブ文学と出会う。以来、現代世界の思想的課題としてパレスチナ問題について考え続ける。

著書に『アラブ、祈りとしての文学』(みすず書房、2008年)、『棗椰子の木陰で 第三世界フェミニズムと文学の力』(青土社、2006年)ほか。訳書にサイド・アブデルワーヘド『ガザ通信』(青土社、2009年)、ライラ・アフメド『イスラームにおける女性とジェンダー』(法政大学出版、2000年)ほか

とき 10月31日(土)
13時30分～16時30分

ところ 名古屋 Y W C A
2 F ビッグスペース
地下鉄「栄」駅 5番出口 東へ2分
TEL 052-961-7707

参加費 500円(学生無料)

主催 第9条の会なごや

協力 パレスチナ子どものキャンペーン名古屋
愛知大学九条の会
名古屋 Y W C A

連絡先 第9条の会なごや

TEL 052-798-2789(川合)

携帯 090-9171-6038(加藤)